

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

瑞浪市地域公共交通会議

平成19年1月24日設置

フィーダー系統 平成29年6月23日 確保維持計画策定

■ 瑞浪市内の公共交通

J R 鉄道	市内に2駅（瑞浪駅、釜戸駅）
東鉄バス	東濃鉄道株式会社運行。明知線、瑞浪＝駄知＝多治見線の2路線。地域間幹線系統。
コミュニティバス	市運行。9路線。
デマンド交通	市運行。3ルート（日吉＝明世ルート、大湫＝日吉東部ルート、釜戸ルート）
タクシー	4事業者（平和タクシー、東鉄タクシー、小林タクシー、S K Uタクシー）

■ 「瑞浪市地域公共交通総合連携計画」（平成30年度に具体的事業の整理を実施）

- 基本方針1 公共交通機関の機能分担と連携強化によるネットワークの再構築を目指す
- 基本方針2 協働による持続可能な仕組みづくりの確立を目指す
- 基本方針3 瑞浪市コミュニティバスとスクールバスとの一体的な運用を目指す

■ 平成27年度策定「瑞浪市生活交通ネットワーク計画」

- (1) 交通不便地域の解消
- (2) 公共交通ネットワークの構築
- (3) サービス水準の維持、向上

■コミュニティバス及びデマンド交通（フィーダー補助系統）は東濃鉄道バス（地域間幹線系統）と瑞浪駅前で接続。

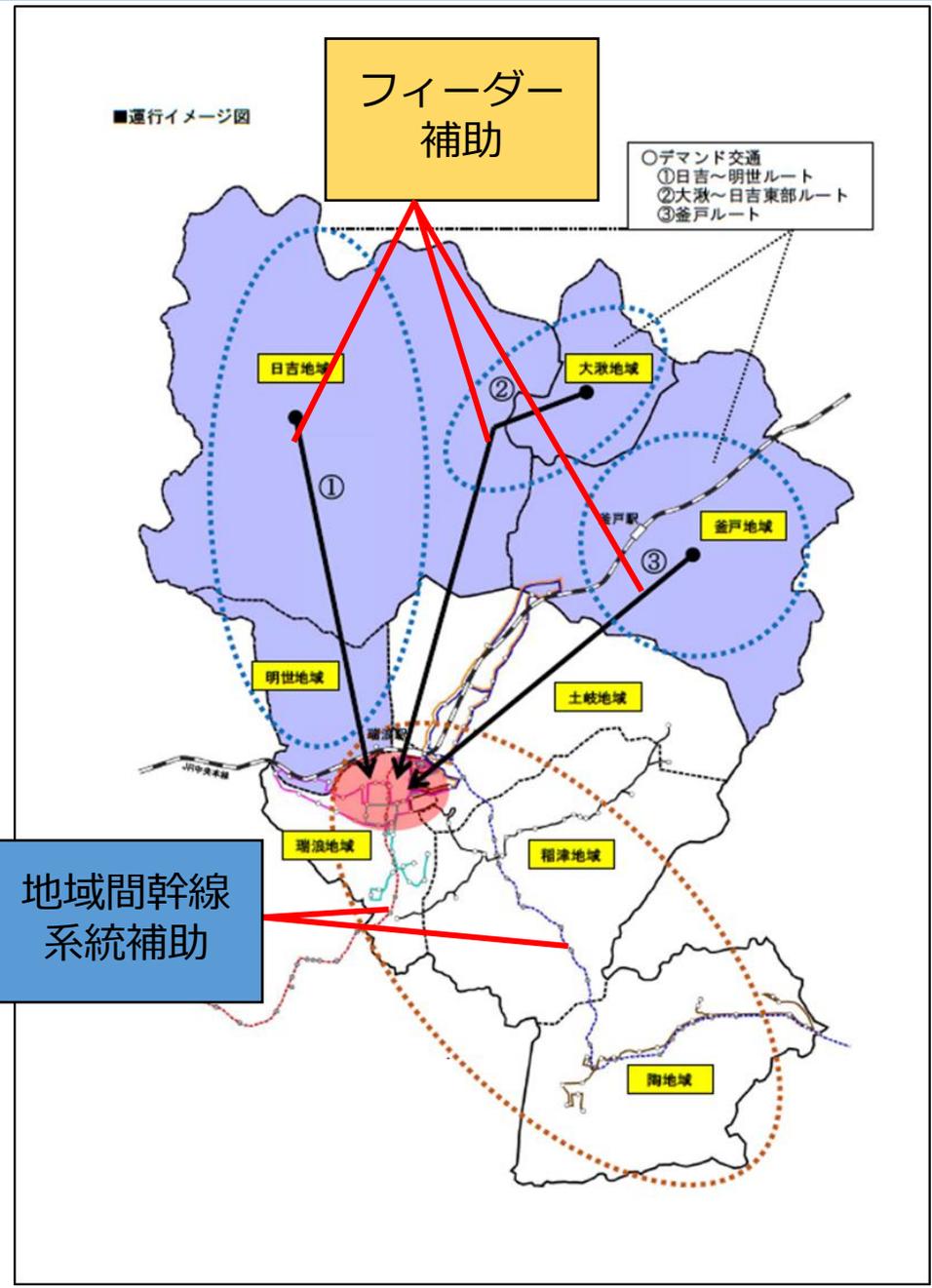
■北部地域と中心部・南部地域に切り分けて公共交通体系を構築。

（1）北部地域

- ・平成28年10月から日吉・大湫地域においてコミュニティバスの一部の運行便を廃止し、**デマンド交通を導入**。
- ・まちづくり推進協議会が運行するデマンド交通（コミバス大湫）は廃止。
- ・平成29年10月から釜戸地域においてコミュニティバスの一部の運行便を廃止し、**デマンド交通を導入**（平成29年4月から平成29年9月まで実証運行）。
- ・通学対応については、平成30年度まではコミュニティバスにより対応。平成31年度以降は、統合後の瑞浪北中学校はスクールバス、小学校はコミュニティバスとする。

（2）中心部・南部地域

- ・**東濃鉄道バスとコミュニティバス**の運行。
- ・平成28年度の瑞浪南中学校への統合後は、中学校はスクールバスを運行。



1. 時刻表作成・配布 (実施主体：瑞浪市)

- ・ 時刻表を全戸配布 (冊数：12,500部)。
- ・ 市広報平成30年6月15日号：デマンド交通利用啓発。

2. 制度説明会の開催 (実施主体：瑞浪市)

- ・ 平成28年度：自治会 (約40回) その他長寿会など。制度導入に伴う説明、調整。
- ・ 平成29年度：区長会 (3回) 長寿会 (3回)。制度周知。
- ・ 平成30年度：区長会 (3回)。制度周知。

3. 自治会要望の集約、利用者アンケートの実施 (実施主体：瑞浪市)

- ・ 自治会要望について各区単位で要望の集約。
- ・ コミュニティバス、デマンド交通の利用者及び登録者にアンケートを実施。
- ・ 対応可能な要望については、次年度の運行内容の改正案に反映。

4. 運転免許証自主返納支援制度の実施 (実施主体：瑞浪市)

- ・ 運転免許証を自主返納する高齢者に対して、公共交通への利用転換を促進するため、コミュニティバス、デマンド交通、東鉄バス、タクシーの回数券・利用券の交付する制度。
- ・ 平成30年1月から実施。平成30年11月までに61件の申請。うち、35件は当該制度が自主返納の契機となった。

5. デマンド交通の観光利用の推進 (実施主体：瑞浪市、観光施設)

- ・ 以前より問い合わせが多かった中山道の宿場町への交通手段について、デマンド交通を観光目的で利用できる運用とした。
- ・ 市内の2つの宿場町「細久手宿大黒屋前」、「大湫宿」及び周囲に化石博物館等がある「市民公園」の3カ所の目的地と、JR瑞浪駅をつなぐ観光目的の公共交通として活用。
- ・ 観光施設のホームページにおいても、交通アクセスにデマンド交通を掲載。

■ 平成30年度第2回瑞浪市地域公共交通会議：平成31年1月7日（月）於：瑞浪市役所にて自己評価を実施。

- ・ コミュニティバス 目標値：80,000人(H35) (現状維持の目標)

※は、再編前の名滝市原線、名滝一日市場線の利用者数の合計

	瑞浪中央線	山田線	益見線	土岐線	萩原線	陶線	釜戸平山線	釜戸大湫線	日吉線	合計
H26	12,896	18,717	※9,794		4,685	3,442	8,118	16,164	22,965	96,781
H27	12,809	18,038	※9,541		4,574	3,207	7,011	14,817	21,726	91,723
H28	11,872	18,427	※9,275		4,913	2,111	6,319	12,586	18,913	84,416
H29	11,486	17,061	4,154	4,110	5,150	1,502	5,636	10,124	16,517	75,740

- ・ 市民アンケート「瑞浪市は、利用しやすい公共交通が整っているまちだと思いますか」 (総合計画による)

目標値(H30)	H26	H27	H28	H29
44.1%	34.1%	32.1%	36.3%	38.4%

- ・ デマンド交通 目標値：4,500人(H35) (1ルート1日3往復6便の計画。稼働率50%、乗合人数2人を想定)

● 国補助 (フィーダー補助) に関する指標

※は、H29.4~H29.9実証運行。H29.10から本格運行開始。

ルート	目標値	H28.10~H29.9	H29.10~H30.9
日吉=明世ルート	1日4便、16人	1日1.96便、2.85人	1日2.54便、3.70人
大湫=日吉東部ルート	1日2便、8人	1日1.60便、2.54人	1日2.07便、4.20人
釜戸ルート	1日2便、8人	※1日1.10便、1.54人	1日1.82便、2.66人
合計	1日8便、32人 利用者数 4,500人	1日4.66便、6.93人 利用者数 1,506人	1日6.43便、10.56人 利用者数 2,575人

課題	対応方針
<p>①コミュニティバスに関する課題</p> <ul style="list-style-type: none">●利用者数の減少がみられる。デマンド交通導入により一部の便を廃止したことや運行エリアの人口及び通学で利用する児童の減少による利用者減が考えられる。特に町内循環線である陶線の利用者が減っている。	<ul style="list-style-type: none">●陶線は、町内移動だけに限らず、東濃鉄道バス明智線と接続することで市中心部へ移動できる系統である。時刻表に東濃鉄道バスとの接続について記載し、乗継による利用者の増加を図る。●他の路線についても、要望への対応を行い、利用しやすい公共交通体系となるよう努める。
<p>②デマンド交通に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none">●運行開始から2年が経ち、稼働率、乗合人数も順調に増加している。一方で、固定客の利用に留まっている状況である。 <p>どのように新規利用者を掘り起こすかが課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none">●引き続き、広報を通してデマンド交通の制度周知を行うとともに、区長会等で制度説明会を実施することによって、制度を知ってもらう機会を増やす。運転免許証自主返納支援制度を通して、自家用車から公共交通機関への利用の転換を促進する。デマンド交通の観光利用を通じて観光客の利用促進を促す。
<p>③要望の把握に関する課題</p> <ul style="list-style-type: none">●地域のニーズに的確に応え、利用しやすい公共交通を提供する必要がある。	<ul style="list-style-type: none">●引き続き、自治会を通じた地区要望の集約と利用者等へのアンケートを通して、要望の整理を行うとともに、対応可能なものは順次対応していく。

平成30年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（経緯）

瑞浪市地域公共交通会議

平成19年1月24日設置

フィーダー系統 平成29年6月23日 確保維持計画策定

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
地元の要望で改編したものの については、結果について も地元へ提示していくのが 重要。	デマンド交通のルートごとの 利用状況を毎月、導入地 区に情報提供している。 地域の広報誌に掲載して、 導入の効果を知ってもら う工夫をしている。	引き続き、地元要望を受け たものについては、その結 果を地元へ提示していく。
明智や駄知からのアクセス が軽視されている印象。	東濃鉄道バス明智線の利用 促進のため、町内循環線 (市コミュニティバス)と 明智線との接続について、 時刻表冊子に記載すること とした。	東濃鉄道バスの瑞浪＝駄知 ＝多治見線、明智線の利用 促進、アクセス向上に向け た対策を検討する。
ソフト施策の効果の把握手 法について考察し、改善に つなげてほしい。	運転免許証自主返納支援制 度については、口頭による アンケートで制度が自主返 納の契機となったかを調査 している。	引き続き、効果の把握手法 について考察し、改善につ ながるよう努める。

■ 運転免許証自主返納支援制度の運用

- ・ **自家用車から公共交通機関への利用の転換**を促進し、**高齢運転者による交通事故の減少**を図るため、平成30年1月から65歳以上の瑞浪市民で有効な運転免許証の「免許取消しの申請」を行い自主返納した方に公共交通機関の回数券・利用券5,000円相当を交付。
- ・ 交通安全教室や長寿会でチラシを配布するなどPRした結果、平成30年11月までに**61件の申請**があった。
- ・ **うち35件は当該制度が自主返納の契機となった。**
(口頭での聞き取りアンケートによる)

■ デマンド交通の観光利用の開始

- ・ 観光客からの問合せの多い観光スポットに限定し、デマンド交通の観光利用を開始。
- ・ 平成30年1月から運用開始し、平成30年11月までに**18件、58人の利用実績**。
- ・ **観光施設のホームページにおいても、交通アクセスにデマンド交通を掲載。**

運転免許証の自主返納支援制度をご利用ください!

運転免許証を自主返納した高齢者の方を対象に、市内公共交通の回数券、利用券を進呈します!

- 1 対象者**
65歳以上の瑞浪市民で有効な運転免許証の「免許取消しの申請」を行い、免許証を自主返納した方。
- 2 支援内容**
①～④のいずれかを進呈します。(1人につき、1回となりませす)
① 市コミュニティバス回数券
② 市デマンド交通「いこCar」回数券
③ 東濃鉄道バス回数券
④ タクシー利用券(平和タクシー、東濃タクシー、小浜タクシーのいずれか)
※いずれも5,000円分です。
- 3 申請期間**
運転免許証を自主返納した日から**3ヶ月以内**
- 4 申請方法**
① 多治見警察署にて「免許取消しの申請」(自主返納)を行うとともに運転経歴証明書を取得する。
② 申請書に必要事項を記入し、運転免許証の取消通知書及び運転経歴証明書の写しを添付の上、市役所西工棟に提出する。
③ 申請書類を確認の上、公共交通回数券等が交付される。

おおくて 大湫町
大湫町コミュニティ推進協議会

検索...

大湫町のご紹介 お知らせ 大湫町について イベント アクセス お問い合わせ

バス (瑞浪市デマンド交通) でお越しの場合

市外からお越しの方は、JR瑞浪駅から瑞浪市デマンド交通「いこCar (いこかあ〜)」をご利用になれます。

詳しくは瑞浪市ホームページよりご確認ください

詳しくは平和コーポレーション株式会社よりご確認ください

←大湫宿 ↓細久手宿

電車で

名古屋駅 JR中央本線
↓
45分
瑞浪駅 瑞浪市コミュニティバス、
↓
瑞浪市デマンド交通
「いこCar(いこかあ〜)」、
またはタクシーで、20分
細久手宿

[※瑞浪市デマンド交通「いこCar\(いこかあ〜\)」の詳細](#)